

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 521 2016.08 >

BULLETIN

2016年7月～2017年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Joan Wilson「私たちの未来は、今日から始まる」(カナダ)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
利根川恵子「明日に向かって、今日動こう」(川越)
片山 啓「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」(茨城)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫
副 会 長 西澤 紘一
書 記 目黒 卓
会 計 平林 正子
監 事 柿沼 敬喜
担当主事 花井 雅男

8月 平和月間

平和のうちに身を横たえ、わたしは眠ります。主よ、あなただけが、
確かに わたしをここに住まわせてくださるのです。

(詩編4:9)

<神さまに守られて、ゆっくり休める平和を求めます>

2016年8月 納涼例会

日時:2016年8月17日(水) 18:30~20:30
場所:「鳥 陣」 <http://www.torijin.info/>
台東区上野 3-7-2 TEL03-3836-3389
受付:司会 : 目黒プログラム委員

開会点鐘 浅見会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
食前の感謝 古 平 君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長

青木直前会長慰労
花束贈呈 寄せ書き贈呈 浅見会長
乾 杯 浅見(ク)プログラム委員

開 宴 ~鳥陣の美味しい料理とお酒を
ゆっくりと堪能しましょう~

Happy Birthday<8月 浅見会長1名>
YMCA 情報 花 井 君
閉会点鐘 浅見会長

*8月納涼例会はクラブメンバー&神田川サポーター
合同で楽しみましょう。

~CS強調月間に考える~

C S Community Service 地域社会・隣人奉仕活動。
大は地域社会、少は地域社会の隣人への奉仕活動で、
各クラブは区・部のCS活動に参加するとともに関係YMC
Aの求めに応える奉仕の実践活動です。

東京グリーンクラブでは1979年・昭和54年より「神田
川船の会」というCS活動を継続しており、東京YMCAと
協働して年2回、5~6艘の船を出し、クルーズのガイドも
務め、河川の浄化運動を推進してきました。

この永い活動の経験から、クラブとして蓄積された、江
戸から東京への変遷、河川と河岸の環境の変化等などの
資料を冊子にまとめて刊行しています。さらにそれを活用
して、「河川に因んだ江戸文化勉強会」を企画してさらに
知識を深めることもいいでしょう。その動きの先に新CS事
業への展望が見えてくれば……とも考えます。(布上 記)



【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 15/16 93%
出席:7月例会 (グリーンメン 13名、メネット2名、ビジター3名)計18名
【ニコニコ】 7月例会 12,000円 累計 12,000円

＜2016年7月 例一例会報告＞

日時:2016年7月20日(水)18:30~20:30

場所:千代田区和泉橋区民館 2階

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・稲垣・柿沼・古平・佐野

高谷・新倉・西澤・布上・花井・平林

(メネット)稲垣・布上

(ビジター)関東東部部長 片山 啓(茨城クラブ)

ユース事業主査 青木一芳(千葉クラブ)

高津達夫(東京むかでクラブ)

片山部長、青木事業主査の公式訪問を受けて布上メン司会のもと定刻5分遅れでキックオフ例会が開会された。



会長挨拶の中で第2例会に於いて了承された2015年~2016年度決算報告・2016年~2017年度予算案、その根幹となる委託CS事業と収益に関する説明があり例会で正式に承認された。これにより会員増強の一助となる1万円の年会費値下げが2年連続実行されることになり、年会費は6万円となりました。

食事中、例会中に一言でも発言し参加意識を持つため、全会員が発言しニコニコ献金することをビジターに説明、納得されたようでした。

片山部長よりパワーポイントを使い、利根川理事の方針・目標を基盤に「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」を掲げて部の活動を展開していくことをリーダー出身らしくYMCAへの思いを述べられた。



青木主査は評議会前で少しフライング気味と断られながらも若者を巻き込む活動とユースリーダーフォーラムへの協力を要請された。高津メンは東京むかでのCS事業であったユニークダンスが打ち切られ、代わりとして野尻学窓でのキャンプ経験を生かしたシニア向けキャンプを山中湖センターで開催するチラシを配布して参加をアピールされた。

事業委員会報告では、今期の「神田川船の会」委託事業が稲垣実行委員長から報告・説明された。10/29の神田川催行について、募集時期、招待先検討、船数確定、などなど、前回の状況を踏まえて慎重に準備したいと発言があった。

現・次期役員交代は新会長からの次期キャビネット紹介で済ませ、8月の直前会長慰労会を楽しみにすることになった。



楽しみにすることになった。

(浅見隆夫 記)

＜2016年7月 第二例会報告＞

日時:2016年7月13日(水)18:30~20:00

場所:千代田区和泉橋区民館 4階

出席:浅見 T・浅見 K・青木・柿沼・布上・花井・平林・目黒

花井主事より

夏まつり提灯・抽選券購入の協力要請あり。

審議・協議事項

- ① 2016~2017 予算案 了承、7月第一例会にて承認
- ② 会費値下げの件 現年会費7万円から6万円に 了承
7月第一例会にて承認予定
- ③ 8月納涼例会・会長慰労会
8月17日(水)18:30~20:30

御徒町/末広町の「鳥陣」 <http://www.torijin.info/>



会費@3500円

(会より@2000円補助)

会長慰労会:花束贈呈、

寄せ書き準備

稲垣メンより第三例会時にご提案された神田川船の会にお手伝い頂いた方々にも花井主事並びに会長を通じてご案内をする。

- ④ 故林福松氏新盆食事会の件 了承
(稲垣メン欠席のため詳細は後日報告)
＜7/20 例会で予定通り実施 報告＞

- ⑤ 8月以降卓話者の件
第二例会までに候補者を会長まで連絡

- ⑥ 東京YMCA 夏まつりの件
グリーンはフランクフルト&もろきゅう
担当メネットは8:30 集合 メンは10:00 集合
一般には;開会 11:30~閉会 15:30
抽選会景品として「10/29 神田川船の会」乗船ペア券を2組寄付
夏祭り提灯(@500円)抽選券(@250円×4枚、1000円)の協力要請 了承

- ⑦ 9月22日(木・祝)
第30回インターナショナルチャリティーラン支援要請 了承
(会場警備・荷物預かり・ラッフル券販売・記録係)
集合 木場公園 8:30

- ⑧ 第29回ユースボランティア・リーダーフォーラムの件
例年のように西澤副会長(クラブ/ユース事業委員長)にお願いする。

【船・ガイド行事予定一覧】

- * 9月23日-24日 グランチャ東雲船の会
柿沼・布上で対応＜7/20 例会で決定＞
- * 10月20日・24日 昌平小学校 課外授業・乗船会
- * 10月29日(土) 第74回神田川船の会

(浅見隆夫 記)

日時:2016 年 7 月 23 日(土) 13:30~16:30

会場:東京 YMCA 東陽町センター

出席:浅見会長・西澤副会長・目黒書記・平林会計
柿沼会員増強事業主査

稲本関東東部書記の司会で型通りの開会セレモニーがあり、片山関東東部部長より利根川東日本区理事方針に沿って「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」の主題のもと、クラブ間の協力体制・連携・協働を進め、活性化と成長を目指す方針が述べられた。各事業主査活動方針と各クラブ会長活動方針が示され新年度がスタートし引き続き議事に入り

第 1 号議案

提案者 片山部長 2016—2017 年度 部長方針 承認

第 2 号議案 提案者 鈴木直前部長 2015—2016 年度
会計決算、会計監査報告 承認

第 3 号議案 提案者 片山部長 2016—2017 年度予算 承認

第 4 号議案 提案者 片山部長
東日本区定款見直し委員会設立に向けた委員推薦の件
青木元国際会長を推薦 承認

最後に関東東部 20 周年記念部会

2016 年 10 月 15 日(土) 13:00~19:00

場所:つくば国際会議場(部会)

ホテルグランド東雲(懇親会)会費:4,000 円

のアピールがあり閉会した。

猶、懇親会は近くの「華の舞」であり浅見・柿沼・平林が参加、各クラブとの懇親を深めました。(浅見隆夫 記)

創立40周年記念例



上記記念例会に青木・浅 K・浅見 T・柿沼の 4 名でお祝いに伺いました。私達の年代には懐かしい中野サンプラザの会場で第一部は肅々と進められましたが、配布された「WHO が勧めるウォーキング 197」冊子はとても素晴らしい地道に積み重ねた活動に敬服しました。

記念公演は今泉清氏でしたが、生憎ラグビーには全く興味がなく期待しておりませんでした。講演が始まり、華やかな経歴と巧みな話術、滲み出るお人柄にすっかり引き込まれ、大きな感動とカルチャーショックを受けました。

パーティー会場に移動、ワイズらしからぬウェルカムドリンクに早くも盛り上がるグループもありました。流石に食前感謝のお祈りは静かになりましたが、BGM 代わりのピアノ独奏は再び賑やかで演奏者に一寸失礼に感じました。しかし、演奏者は意にもかけず淡々と弾かれ近くに陣取った我々は素晴らしい演奏を堪能しました。

帰宅後、会場内で販売されていた今泉氏サイン入り書を一気に読ませていただきましたが、本当に有意義で楽しいひと時を過ごせ感謝です。

東京西クラブの益々の発展とご活躍を祈ります。有難うございました。(浅見隆夫 記)

東京 YMCA のイベントに参加しよう!

2016 東京 YMCA 夏まつり

日時: 8月27日(土曜日) 11:30~15:30
場所: 東京 YMCA 東陽町センター
(東陽町駅西2番出口5分) 雨天決行

模擬店 おいしよ!
子どもゲームコーナー
〜たのしいワイワイがっはーい〜

お楽しみ抽選会 (14:50開始予定)
ホテル東陽町、森事務所、サウススーパースポーツなどなど、豪華な抽選品が揃っています!
抽選券は当日会場にて (1枚250円)

バンド生演奏
被災地応援販売
石巻、小千谷、伊豆大田、三宅町
被災地名産 買って応援!

夏まつりの社会は被災地支援と被災者の復興支援、両方とも大切な活動です。

皆様、ふるってご参加ください!

主催: 公益社団法人東京 YMCA 東陽町支部
協賛: 東京 YMCA 東陽町センター
協賛: 公益社団法人東京 YMCA 東陽町支部 03-3615-6568

30th TOKYO YMCA International Charity Run

2016年9月22日(木・祝)
東京大会 本場公観(江東区)

アンバサダー(大使)に
「川合俊一氏」

プロフィール
1984年 ロサンゼルスオリンピックに代表する年長で最速のフルマラソン選手として日本代表のメンバーに選ばれた。
1988年 ソウルオリンピック出場。翌年に日本代表キャプテンに就任。
1990年 陸上競技連盟、ロサンゼルスマラソン大会、日本代表のロードレース選手としてアメリカのサポートメントに就任。
現在は「サンレーゾ」半 maratón 会として「日本の公益、環境保護」をテーマとする「サンレーゾ」半 maratón 大会を主催している。2011年より日本パトロール会 副会長兼 副代表に就任。パトロール 副会長、ランナーとして活躍中。

役員、経営者の皆さまに
御挨拶いたします。

東京 YMCA インターナショナル・チャリティーマラソン
〒130-0041 東京都江東区東陽 5-1-10 (公益社団法人東京 YMCA 会館)
TEL: 03-3615-6568 FAX: 03-3615-6570 http://www.ymca.or.jp

8月27日(土)
東京 YMCA 夏祭り
東陽町センター
11:00~15:30

9月22日(木・祝)
東京 YMCA International
Charity Run 木場公園
アンバサダー川合俊一氏ご挨拶

「故・林メンの新盆食事会」

林福松さん健在であれば、1935年7月31日生まれの満81歳の誕生日にあたります。何やかや賑やかなことが好きだった故人を偲び、「大川端リバーシティ21の pari 広場あたりでチャイナ料理でも食べて林福松さんを偲び、納涼会・新盆会・誕生会」をまとめてやっちゃおうという魂胆です…。



という内容で有志の発案により、クラブや林さんと生前親しかった方々で当日都合のつく方が集まり、和やかに賑やかに林さんを偲びました。

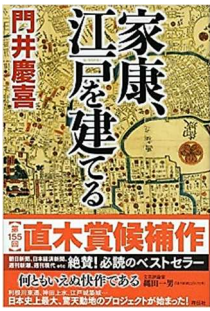
会場は「月島・上海ダイニング」

クラブ及び船の会関係者 14 名出席し、眺めの良いレストランで美味しい料理に大満足いたしました。(文責布上)



第30回「家康、江戸を建てる」

門井慶喜 著 祥伝社 H28/2/20 発行



東京グリーンクラブ唯一のCS事業「神田川船の会」ではクラブ員は大半、クルーズのガイド資格を持って、年2回の船の会のガイド、又、東京都が運営する水辺ラインの隅田川クルーズガイド、さらに日本橋から毎日出ている東京湾クルーズの支援ガイドなどで、江戸から東京への歴史変遷、各河川、河岸の発展などの説明をして

いる。そのため常に「歴史、江戸、川、橋、東京、環境、・・・」などのキーワードを頭に入れて、新しい情報を求めて本屋を覗く。今回、目に飛び込んできたのは、キーワードそのものがタイトルになったようなこの本である。

そもそも広大な湿地帯であった「関東平野」に何故徳川家康は「江戸」という当時としては世界に冠たる大都市を築き上げることになったのか。内容は以下の五話。

豊臣秀吉から関東八州を与えられ、1590年に家康は武蔵の「江戸」に拠点を構えることにした。

第一話 流れを変える

関東平野、武蔵、江戸を湿地帯、泥地にしている元凶は大きな利根川が多数の支流を持って流れ込んでくるからだ。この流れを途中から下総、上総(今の千葉方面)に逃がす。武蔵への流入を調節した。

第二話 金貨を延べる

大阪、京都が主流であった大判、小判(金貨)の鑄造を江戸で始め、本格的な貨幣経済の礎を江戸から作った。

第三話 飲み水を引く

海に近い江戸市中は井戸を掘ると塩辛い水が出る。井の頭から江戸市中に上水を引き、木樋や石管で水道網を張りめぐらせた。

第四話 石垣を積む

天下普請(江戸城、外堀等)の石垣に使う石材は主に伊豆半島からの海運による。各大名競って腕を振るった。

第五話 天守を起こす

徳川二代将軍秀忠が考え、藤堂和泉守高虎に造らせた『白塗りの江戸城・天守閣』の深い意味は……………。



(布上 記)

▼ 7月14日、「2016年賛助会年会・アドバイザー会」が学会館にて行われ、賛助会企業21社とアドバイザー、役員、委員、職員など、50名が出席した。第1部では、会長の氏家純一氏(野村ホールディングス株式会社名誉顧問)の挨拶、事業報告、法人会員13社の表彰に続き、東京YMCAの佐久間真人スタッフが「熊本地震 被災地の実際と今私たちに出来ること」と題して講演を行い、第2部では親睦の時間がもたれた。

▼ YMCAのキャンプを体験したことのない中国の子どもたちにグループ活動や自然に親しむ機会を提供することを目的に、7月18~21日、「北京-東京YMCAパートナーシップ山中湖キャンプ」が実施された。北京から10名の親子が来日し、ハイキング・ピクニック・野外炊飯・スイカ割り・キャンプファイヤー等、さまざまなキャンプアクティビティを楽しんだ。東京YMCAにほんご学院および社会体育・保育専門学校の学生4名がリーダー兼通訳として活躍し、北京の子どもたちと交流を深めた。北京-東京の青少年国際交流活動を今後さらに活発にするための礎を築く機会となった。

▼ 東京YMCAは永年にわたって発達障がい児支援クラス(ASCA)を行ってきた経験を活かし、9月から西東京コミュニティーセンターで「放課後等デイサービス 東京YMCAさくら国立」を開講する。野外教育や創作活動などYMCAらしい活動を取り入れ、すべての子どもがいきいきと生活し、豊かで納得のいく人生を歩む基礎を作る場となることが期待されている。開講に先立ち、8月20日より無料体験会を順次開催の予定。

▼ 10月8日~10日、YMCAに関わるすべての人を対象に「第19回日本YMCA大会」が東山荘にて開催される。YMCAの活動の原動力となるユースと、良き理解者/メンターであるシニアが、未来のYMCAを深く語り合い、互いに学び合うことが出来る場を目指して、世界YMCA同盟チェンジ・エージェントやアジア・太平洋YMCA同盟ユース・レプス、同盟ユース委員等のユースが中心となり現在準備を進めている。

(担当主事 花井 記)

Happy Birthday

8月 浅見隆夫(メン)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
(2016-17年度 会計:平林正子)

みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)

(口座名)東京グリーンワイズメンズクラブ
